

令和5年度シラバス（芸術・書道Ⅱ）

教科（科目）	芸術（書道）	単位数	2単位	2年次以上	選択履修
使用教科書	東京書籍『書道Ⅱ』				
副教材等	なし				

1 学習目標

(1)	書の表現の方式や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3)	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・書表現の多様性を理解し、効果的に表現する技法を身につける。 ・主体的に幅広く活動し、表現する楽しさを体験する。 ・用具を大切にし、準備や片付けを手際よく行う。
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 ・書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

4 評価基準と評価方法

◎評価は次の観点から行います		
知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
<ul style="list-style-type: none"> ・用筆・運筆から生み出される書の表現性と表現効果との関わりについて理解している。 ・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の幅広い表現と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
◎評価方法		
以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況や態度 ・学習の記録カード ・提出作品 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・作品構想カード、制作カードの記入状況 ・提出作品 ・鑑賞カードの記録状況 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 ・学習カードの記入状況 ・提出作品 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	漢字の書 ・篆書	10 「B鑑賞」 「A表現」	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の変遷とその特徴について理解する。 篆書の古典を鑑賞し臨書する。 篆刻 	abc	学習活動への参加状況 学習カード 提出作品 鑑賞カード
5		8 「B鑑賞」 「A表現」			
6	8 「B鑑賞」 「A表現」		<ul style="list-style-type: none"> 草書の特徴を理解し、古典を鑑賞し臨書する。 		
7		6 「B鑑賞」 「A表現」			
9	6 「B鑑賞」 「A表現」		<ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典を鑑賞し臨書する。 		
10		12 「A表現」 「B鑑賞」			
11	10 「B鑑賞」 「A表現」		<ul style="list-style-type: none"> 仮名の古典を鑑賞し臨書する。 古典の散らし書きなどの作品形式を基に仮名作品を制作し、互いに鑑賞する。 		
12		10 「A表現」 「B鑑賞」 計 70 時間 (50分授業)			
1	漢字仮名交じりの書				
2					

6 課題・提出物等

- ・定期テストは実施しません。
- ・毎時間の課題作品の提出がありますので、積極的に参加する姿勢を求めます。
- ・用具の準備・片付け等も含めて学習活動になりますので、遅刻厳禁です。

7 担当者からの一言

書道の学習においては、よく見ること・考えることが大切です。
 技法の習得には自分の解決すべき課題を見極めながら練習を重ねます。
 書を通した自己表現を目指します。

(担当：金井美幸)